

UNIXサーバー版 バージョンアップ内容 (Ver6.12R01 → Ver6.13R00)

2004年2月27日
パナソニック ソリューションテクノロジー(株)

・UNIXサーバー版が Ver6.13R00 にバージョンアップされました。
変更点は以下のとおりです。

機能改善

GlobalFamily4.0対応

GlobalFamily
Server全般

GlobalFamily Webクライアント Ver4.0R08 に対応しました。

Oracle9i対応

GlobalFamily
Server全般

Solaris版、AIX版がOracle9i Database Release 2 (9.2.0.3.0 以上)に対応しました。

ユーティリティ

del_doc_secu

文書不要セキュリティ削除ユーティリティを追加しました。
詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書」をご参照ください。

del_sch_secu

スケジュール不要セキュリティ削除ユーティリティを追加しました。
詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書」をご参照ください。

up_delm

-or, -os, -b, -same, -size, -a, -ut, -trans, -uf オプションを追加しました。
詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書」をご参照ください。

SMTP-GW

up_2430
up_2433
up_2440
up_2443
up_812040

システム管理者に対して自動転送先を制限しないようにしました。
また、許可する自動転送先にサブドメインを指定できるようにしました。
詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書」をご参照ください。

piostospool

外部宛メール送信制限ユーザーでも指定するドメインに対して送信制限をかけない機能を追加しました。
詳細は「SMTPゲートウェイ サーバー側導入・運用手順書」をご参照ください。

up_2430
up_2433
up_2440
up_2443

ユーザー情報のインターネット別名にドメインを含めたメールアドレスを設定可能とし、複数ドメイン対応を追加しました。

up_812040

GlobalFlow

up_81fc73

個人進捗一覧で、書類名とグループを指定してテンプレート絞込みができるようにしました。

GlobalDoc

up_e891

機密文書の移動・複写処理について移動・複写先のキャビネット・フォルダーが機密文書を扱う設定になってない場合、当該処理を禁止するようにしました。

不具合修正

GlobalFlow

up_fb30

強制遂行すると、本文更新が「起案時のみ可」から「全員可」になってしまう不具合を修正しました。

up_fb30

分岐先が変わるような修正を加えて保留した書類を、管理者が強制遂行すると元の分岐先へ分岐される不具合を修正しました。

up_fb30

リンクファイル(画像ファイル等)に¥マークで区切られたパスが指定されていると保存エラーが発生する不具合を修正しました。

up_fb30

複数人の宛先が設定されているインスタンスで遂行し保存エラーが発生した場合に、既に遂行したユーザーが未遂行状態にもどる不具合を修正しました。

up_fb30

インスタンスの否認時のメール通知が「なし」に設定されていると、遂行メールが送信されなくなる不具合を修正しました。

up_fb30

ワークフローの遂行依頼メール等を本システムメール以外に送ると、Subjectが文字化けする不具合を修正しました。

up_81fc70
up_fc70
up_fc76

グループ別進捗画面で、保留中状態のまま削除されたデータが「保留」の状態に表示される不具合を修正しました。

up_f846

上位者を宛先に含む宛先変更可の書類を上位者まで書類が回った後に呼び戻し、その後上位者を削除して再起案しても上位者に書類が回る不具合を修正しました。
この不具合回避には、GlobalFamily Webクライアント Ver4.00R08以降が必要です。

up_fb30

添付ファイル名が116バイト以上の場合、ビューワファイルに添付ファイルが表示されない不具合を修正しました。
添付ファイル名が116バイト以上ある場合は116バイト未満に短縮されます。

up_fb30	保存インスタンスで、出力データに添付ファイルのみを指定した場合、保存履歴が作成されない不具合を修正しました。
up_fb30	ユーザー作成の遂行依頼メール等の本文が長い場合に、一部でメールが届かなかったりメール本文が空白になる不具合を修正しました。
up_fb30	メールインスタンスに複数の宛先が登録されていると、サーバーの作業領域に一時的に使用したファイルが消去されずに残ってしまう不具合を修正しました。
up_fb30	htmlのテキストエリアに1024バイト超のデータを指定して起案すると通信エラーとなる不具合を修正しました。 なお、この不具合はSolaris版のみ発生します。
up_fb30	メールインスタンスに28バイト超のEメールアドレスを指定すると起案できなくなる不具合を修正しました。 なお、この不具合はWindows版、Linux版のみ発生します。
up_fb30	外部DB連携で、外部プログラムに引き渡すファイルが処理中に書き換えられる不具合を修正しました。
up_fb30	外部DB連携で、外部プログラムが2つ以上指定されていた場合、最初のプログラム以外は呼び出されない不具合を修正しました。
up_fb30	遂行時にプロセスが不正な場合、「指定された書類は完了していません。」とメッセージが表示される不具合を修正しました。 正しくは「インスタンスの設定に誤りがあります。」です。
up_81fc72 up_81fc73	一覧非表示の書類が、個人進捗一覧に表示される不具合を修正しました。

GlobalMail

up_815270	配布コード一覧の次ページ以降を表示して先頭データを削除した場合に、プロトコルエラーが発生する不具合を修正しました。
up_51b4	POP3メール件数が不正な場合がある不具合を修正しました。
up_5032	メールの送信者、宛先のユーザー名称に半角カナが含まれている場合に、名称が正しく表示されない不具合を修正しました。
pp_receiver	サーバー間接続環境で旧サーバー(Ver4.72以前)から受信したメールを「全員返信」で返信する際、そのメールの送信者が宛先に設定されない不具合を修正しました。
up_815270	配布コードの一覧で、名称順指定してもコード順／名称順と不確定になる不具合を修正しました。

グループ・ユーザー管理



up_813060 up_813061 up_f230 up_f240 up_f260 up_f270	GlobalFamily Webクライアント Ver2.3およびGlobalFamily WebクライアントVer4.0のグループ情報画面上で、自動更新区分のする／しないが逆になる不具合を修正しました。
up_2442	他で登録済みのインターネット別名を指定してユーザー登録・更新すると登録できてしまう不具合を修正しました。 なお、この不具合はVer6以降で発生します。
up_812070	ユーザー検索で、全角2バイト目と次の1バイトが検索名に指定した文字と一致した場合、検索対象外のユーザーが見つかる不具合を修正しました。
up_2470	インターネット別名一覧で次ページから先頭ページに戻っても、まだ前のページが表示できる不具合を修正しました。

ツールキット

tk_pb	3階層以上の電話帳登録で電話帳が文字化けする不具合を修正しました。
tk_ucug	処理区分[0A]および[0D]のグループメンバー登録で、親グループが存在しなくてもエラーにならない不具合を修正しました。

ユーティリティ

up_cinet	インターネット別名の重複チェックが全て重複なしになる不具合を修正しました。 なお、この不具合はVer6以降で発生します。
up_cmail	警告メールで送信者が空になる不具合を修正しました。
up_save up_load chg_code	Linux版において、ユーティリティが動作し無いことがある不具合を修正しました。
up_delm	2007年になるとFAXエラー発生したデータが即時削除されるようになる不具合を修正しました。
ls_sch_secu	スケジュールセキュリティー覧出力で、スケジュールコードが8桁指定されていた場合、コード表示が不正になる不具合を修正しました。

GlobalSchedule

up_81a840 up_81a841 up_81a842 up_81a850	「参加依頼メールを送る」で会議開催する際、参加者にメールアドレスを設定した場合に参加依頼メールが送られない不具合を修正しました。 なお、この不具合はWindows版、Linux版のみ発生します。

up_81a870

2ページ以上スケジュールがあり、先頭ページ以外から前ページに戻った場合に「次データなし」になる不具合を修正しました。

インストーラー

install.sh

マスターファイル(image.taz、version.txt)を引数指定してインストールを行った際、インストール途中でエラーとなる不具合を修正しました。
なお、この不具合はUNIX版のみ発生します。